

平成27年度開催結果

第2回 幸田町総合戦略推進委員会 結果

○日時:平成27年10月28日(水)午後2時～4時

○場所:幸田町役場4階 第3第4委員会室

○出席者:委員及びオブザーバーの計16人、町事務局等6人

○協議内容と主な意見等

「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、委員から活発なご意見をいただきました。

●基本目標・方針について

・「仕事を育てる」「人の流れを育てる」「子どもを育てる」「地域を育てる」の4つの基本目標のつながりが重要であり、幸田町では「仕事を育てる」が柱となる

・スローガンである「幸田町の体力(産業力)増進と魅力発信により、第3子が安心して産めるなめらかなまちづくり」は非常に良いと思う

●仕事を育てる(産業振興等)

・主要農産物出荷販売額を伸ばすには、就農支援や付加価値化に加え、観光農園などの取り組みが必要である

・就農支援の一環として、農家による小学校での農業教室が考えられる

・製造業をより伸ばすため、製造品に身近なサービスを付加すると良い

●人の流れを育てる(交通・定住環境の向上等)

・人口を増やすには、市街化区域(居住地)を増やす必要がある

・愛知工科大学の最寄駅でもある三ヶ根駅周辺の整備を進めてほしい

・製造業に勤める男性は出会いの場が少ないので、地域主催でアメリカのホームパーティーのような取り組みをしてほしい

・第3子が増えれば家のサイズも大きくする必要があるので、建て替えや増築の支援があると良い(転入者の増加にもつながる)

●子どもを育てる(第3子の支援等)

・待機児童0人を目指すのは良いが、一方で親子の関わりが希薄になる負の側面もある

・第3子以降の幼稚園や保育園の無料化、小中学校の給食費の無料化など、目に見える支援が有効である

・就労証明が出れば、翌月からでも受け入れてもらえる保育園があれば第3子の出産につながる

●地域を育てる

- ・お祭りや農業による子どもと地域の人々とのつながりを大切にしたい
- ・仕事を通じて障がい者の方と地域の人々のつながりが築けると良い
- ・転入者の方と地域の人々が交流できる場所が欲しい
- ・児童館は、対象年齢で分けた使い方や多目的な使い方ができると良い
- ・様々なつながりが第3子を後押しする

などがあげられました。

これらを踏まえ、「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みとしては、

- ・幸田町の特色を出すため、4つの基本目標のうち、「仕事を育てる」を柱とする
 - ・地域の様々な既存の取り組みを伸ばしていく
 - ・魅力ある子育てしやすいまちをつくることで人口増につなげる
- を柱としていくことを確認しました。